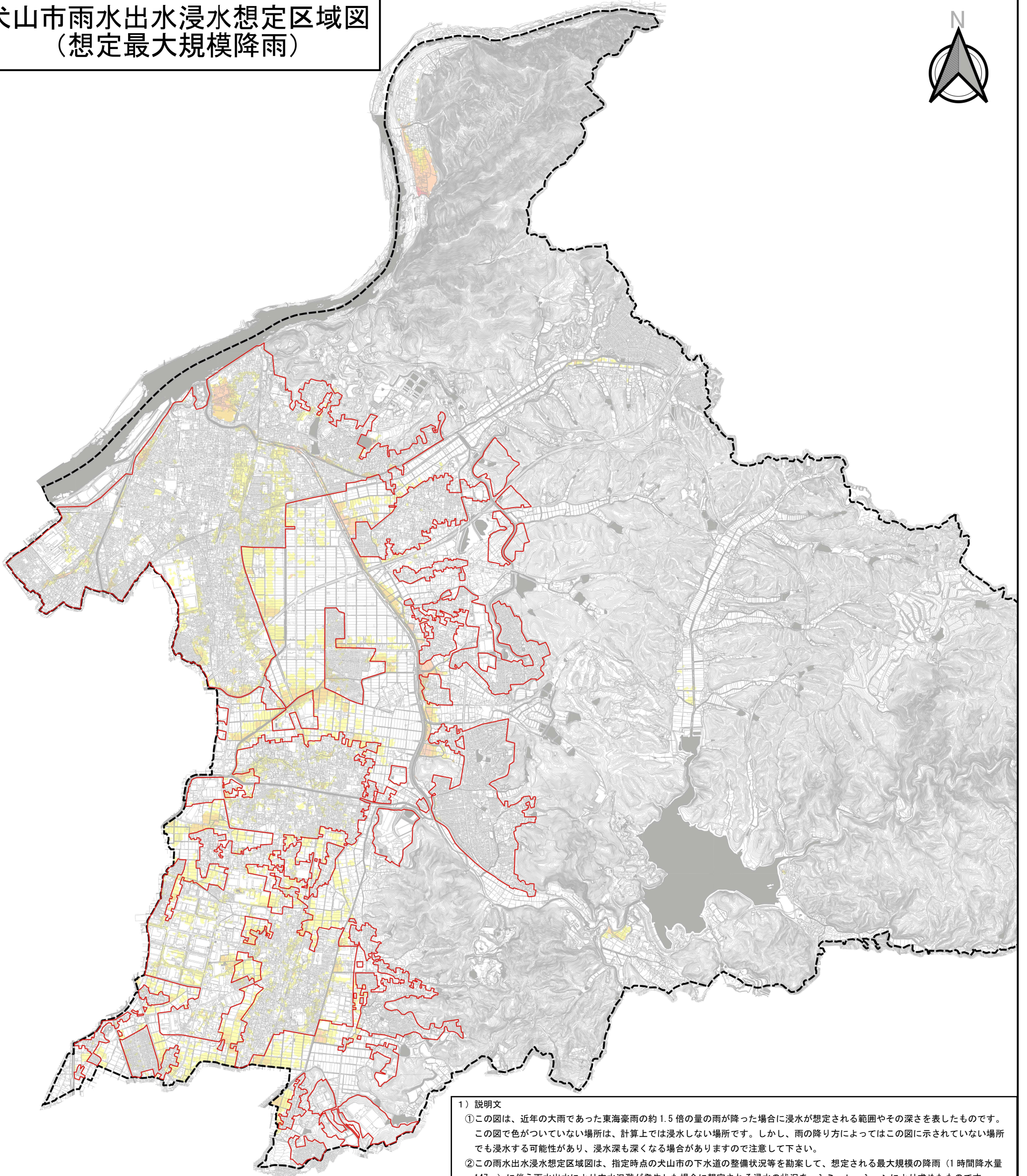


犬山市雨水出水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)



凡 例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	3.0m 以上 5.0m未満
	1.0m 以上 3.0m未満
	0.5m 以上 1.0m未満
	0.3m 以上 0.5m未満
	0.1m 以上 0.3m未満
	都市計画区域
	下水道計画区域

0 1,000 2,000 m
S=1:20,000(A1)

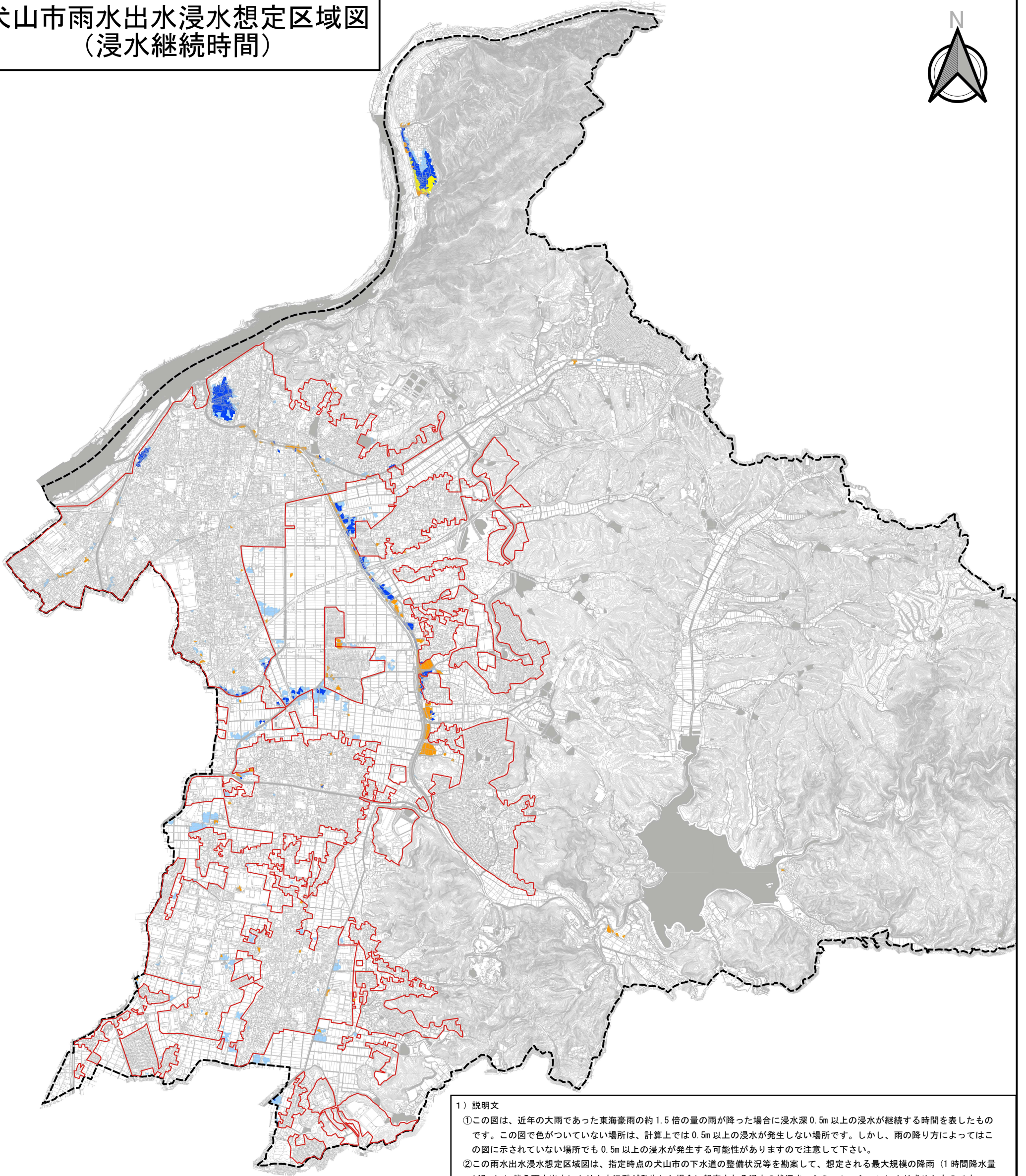
1) 説明文

- ①この図は、近年の大雨であった東海豪雨の約1.5倍の量の雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。
- ②この雨水出水浸水想定区域図は、指定時点の犬山市の下水道の整備状況等を勘案して、想定される最大規模の降雨(1時間降水量147mm)に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- ③このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。
- ④このシミュレーションは、想定される最大規模の降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を想定される最高水位に設定しています。
- ⑤水防法第14条の2第2項により定められた雨水出水浸水想定区域の対象範囲は、指定時点における犬山市公共下水道計画区域(赤枠)内です。
- ⑥水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2) 基本事項

- ①作成主体：犬山市
- ②指定年月日：令和8年〇月〇日
- ③告示番号：〇〇〇
- ④指定の根拠法令：水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項
- ⑤指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨(1時間降水量147mm)
- ⑥浸水想定手法：浸水シミュレーション手法(降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析)を一連で実施
- ⑦境界条件：各河川の水位は想定される最高水位(堤防高)で設定
- ⑧その他条件：対象区域を25m(625㎡)以下の三角形メッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算

犬山市雨水出水浸水想定区域図 (浸水継続時間)



凡例	
0.5m以上の浸水が継続する時間	
Orange	72時間以上
Yellow	24時間以上 72時間未満
Blue	12時間以上 24時間未満
Light Blue	12時間未満
Dashed Black Line	都市計画区域(ポリゴン)
Red Line	下水道計画区域

0 1,000 2,000 m
S=1:20,000(A1)

1) 説明文

- ①この図は、近年の大雨であった東海豪雨の約1.5倍の量の雨が降った場合に浸水深0.5m以上の浸水が継続する時間を表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では0.5m以上の浸水が発生しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも0.5m以上の浸水が発生する可能性がありますので注意して下さい。
- ②この雨水出水浸水想定区域図は、指定時点の犬山市の下水道の整備状況等を勘案して、想定される最大規模の降雨(1時間降水量147mm)に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- ③このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。
- ④このシミュレーションは、想定される最大規模の降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を想定される最高水位に設定しています。
- ⑤水防法第14条の2第2項により定められた雨水出水浸水想定区域の対象範囲は、指定時点における犬山市公共下水道計画区域(赤枠)内です。
- ⑥水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2) 基本事項

- ①作成主体：犬山市
- ②指定年月日：令和8年〇月〇日
- ③告示番号：〇〇〇
- ④指定の根拠法令：水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項
- ⑤指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨(1時間降水量147mm)
- ⑥浸水想定手法：浸水シミュレーション手法(降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析)を一連で実施
- ⑦境界条件：各河川の水位は想定される最高水位(堤防高)で設定
- ⑧その他条件：対象区域を25m(625㎡)以下の三角形メッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算